

みのりのみのり

2024年4月号

「みのりの投信」 卯月のご報告

～「みのりの投信」のこれまでとこれから～

「強い米国」から「弱い米国」へ、ドル高・高金利と経済安全保障の影響に注意

4月の世界株式市場は、米国の金融緩和期待の後退等から大きく下落しました。昨年秋の米中央銀行の利下げ姿勢への転換以来、「強い米国」の景気・インフレへの楽観から様々なリスク資産やドルが大きく上昇しましたが、地政学的リスクの高まりを契機に、金融緩和期待の後退や長期金利上昇からリスク回避姿勢が強まり、逆に価格調整に転じました。また人工知能(AI)・半導体を中心に高まり過ぎた成長期待の剥落もあり、投機的に上昇した資産ほど下落幅が大きくなりました。「強い米国」が故に米国の金融緩和が遅れる一方で、信用・財政・トランプリスクの高まりと高金利継続から実体経済は着実に「弱い米国」へと移行しつつあり、冷静に長期的な方向性を見極める必要があります。

基軸通貨を持つ「強い米国」のドル高と高金利は、米国以外の先進国・新興国において、自国通貨安を通じて金融緩和余地を狭め、世界的な景気停滞とともにドル建て債務返済難をももたらしています。国際通貨基金(IMF)等も「強い米国」による世界的な通貨・金融危機に懸念を示しており、今般の日本の為替介入の背景とも考えられます。また経済安全保障を目的とした産業保護政策の強化は、世界の分断と国の優劣劣敗による世界の不安定化と、割高で過剰な供給体制がもたらす非効率的なグローバル経済に繋がると危惧しています。その中で、圧倒的な規模の人口と経済力を持つ中国の存在は、基幹先端産業における「新質生産力」強化政策を通して、その質と量、価格においていずれ世界に衝撃を与えると考えています。

日本は追い風から向かい風へ、日本銀行の遅れた金融正常化と財政再建

3月の日経平均株価4万円から4月には大きく調整した日本株式市場ですが、コロナ後の消費回復や遅れた価格転嫁、円安メリット等の一時的な追い風を背景に過度に楽観的な期待が萎んできたものと考えています。今後は、「弱い米国」の顕在化と円安デメリットの向かい風に加え、日本銀行の量的緩和の縮小、利上げといった世界に遅れた金融正常化と「金利がある世界」へのシフトには十分に備えておく必要があります。米大統領選挙後をにらんだ外交に余念がない岸田政権は、政治問題に一定の目途をつけ、今後は金利上昇に備えた財政再建に向けて歩を進めると思われ、解散総選挙の可能性にも目配りが必要です。

大きな構造変化のなか、適応力と絶対的な割安さで厳選し資産を着実に増やす

世界および日本の歴史的な構造変化のなかで、生産性・付加価値向上により割安な評価が大きく変わる日本企業、という長期シナリオがより鮮明になってきました。そのうえで、「変化適応力」を有する絶対的に割安な株式のみを厳選し、リスクと変動率に配慮した規律ある集中投資により、長期的にお客様の資産を守りながら着実に増やす、という運用方針を堅持したいと考えています。

「みのりの投信」 運用責任者 立田 博司



PORTFOLIA

株式会社ポートフォリア

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2679号

加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

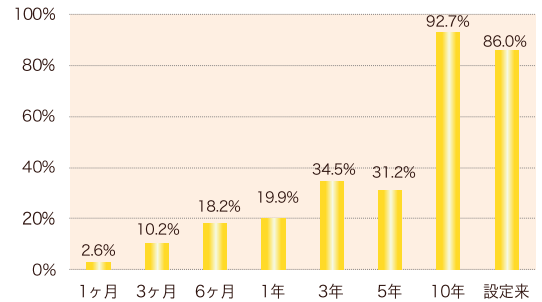
「みのりの投信」のみのり（4月の運用状況）

4月の基準価額は+2.6%上昇、年初来でも+12.8%の上昇と、世界の株式市場が大きく変動する中でも安定的に上昇しています。一時的な需給要因から上昇率が見劣りすることもあります。欧・米景気減速の影響を受けづらい内需小型株やグローバル・ニッチで新興国に強い中小企業が多く、業績が堅調でかつ株式が絶対的に割安であること、等から、保有する企業の価値は長期的に上昇すると想定しています。

基準価額の動き（設定日～2024年4月30日）



期間別騰落率



分配金

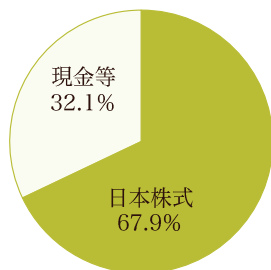
第2期（2014年4月1日～2015年3月31日）	0円
第3期（2015年4月1日～2016年3月31日）	0円
第4期（2016年4月1日～2017年3月31日）	0円
第5期（2017年4月1日～2018年4月2日）	0円
第6期（2018年4月3日～2019年4月1日）	0円
第7期（2019年4月2日～2020年3月31日）	0円
第8期（2020年4月1日～2021年3月31日）	0円
第9期（2021年4月1日～2022年3月31日）	0円
第10期（2022年4月1日～2023年3月31日）	0円
第11期（2023年4月1日～2024年4月1日）	0円

※ 基準価額は、運用管理費用（信託報酬）を控除した後の数値です。
 ※ 純資産総額は小数点第2位を切捨て、期間別騰落率は小数点第2位を四捨五入しています。
 ※ 過去の運用実績は将来の運用成果等を約束するものではありません。

「みのりの投信」の種蒔き（4月末の資産内容）

4月は、世界的なリスクの高まりを想定して、株価が上昇し割高になった企業の株式や将来見通しが悪化する可能性が高まった企業の株式等を一部売却し、株式組入比率を引き下げました。その結果、組入銘柄数は34銘柄、株式組入比率は67.9%（3月72.5%）になりました。長期的な日本株式市場への運用方針は変わらず、日本人の円資産にとって、為替リスクや地政学的リスク、カントリーリスクが少なく、かつ世界的にも割安で魅力的な日本株式のみを保有し良好な結果を示している状況に変わりありません。

資産の内訳



組入上位10銘柄

銘柄	国	組入比率
1 ツムラ	日本	5.1%
2 ノジマ	日本	5.0%
3 I DOM	日本	5.0%
4 スルガ銀行	日本	4.8%
5 日精エー・エス・ビー機械	日本	4.7%
6 ラクト・ジャパン	日本	4.6%
7 フジシールインターナショナル	日本	4.6%
8 シェアリングテクノロジー	日本	4.0%
9 ダイト	日本	3.9%
10 ニホンフラッシュ	日本	3.8%

組入銘柄数：34

【ご参考】 アクティブ・シェア：99.35

※ アクティブ・シェアは、組入銘柄が市場インデックスの構成銘柄とどれだけ異なるかを表す指標で、この数値が高いほど市場にかかわらずに銘柄を独自に厳選しアクティブ度が高いことを示しており、より優れた運用実績に繋がる傾向があるとの研究結果も報告されています。
 ※ ここでは過去1年間における東証株価指数（TOPIX）（配当込）に対する数値を記載しています。

※ 「みのりの投信」は、「みのりの投信マザーファンド（親投資信託）」を通じて内外株式等に投資しており、上記の図表は「みのりの投信マザーファンド」の内容を表しています。
 ※ 組入比率は、小数点第2位を四捨五入しています（各項目の合計が100等にならない場合があります）。

「みのりの投信」の投資リスク

「みのりの投信」は値動きのある有価証券等に投資するので、組入る有価証券等の値動きなどの影響により基準価額が下落することがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されておらず、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。「みのりの投信」は預貯金と異なります。信託財産に生じた利益および損失はすべてお客様に帰属します。

基準価額の変動要因（おもな投資リスク）

株価変動リスク	国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。個々の企業の業績、国内外の経済・政治情勢などの影響を受けて株式の価格が下落した場合には基準価額は下落します。
流動性リスク	株式等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下で期待される価格や数量で取引が行えない、または取引が不可能となる場合があり、基準価額にマイナスの影響をおよぼす可能性や、換金の申込の制限や中止、換金代金の支払遅延等の可能性があります。
信用リスク	株式等の発行者や株式の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、これらの株式等の価格が下落することやその価値がなくなることがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動により外貨建資産の価格が変動します。一般に外国為替相場が対円で下落した場合（円高の場合）には、外貨建資産の円ベースでの価格は下落します。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

お申込みメモ

ご購入時	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
	購入代金	販売会社が指定する期日までにお支払いください。
ご換金時	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から、販売会社にてお支払いします。
お申込について	申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。ただし、販売会社によって受付時間が異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込を制限する場合があります。
	購入・換金の申込不可日	海外にも投資するため、国内の営業日であっても申込ができない日があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入・換金申込受付の中止及び取消し	取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込の受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金の申込の受付を取消すことがあります。
その他	信託期間	無期限です（信託設定日：2013年4月30日）。
	繰上償還	ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には償還する場合があります。
	決算日	毎年3月31日（休業日の場合は翌営業日）
	収益分配	毎年1回の決算時に委託会社（株式会社ポートフォリア）が基準価額の水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。 ただし、委託会社の判断において、分配を行わない場合があります。 収益分配金は、原則として決算日から起算して5営業日目までのお客様にお支払いします。 自動けいぞく投資コースをお申込の場合は、収益分配金は税引き後無手数料で「みのりの投信」に再投資されます。
	信託金の限度額	1兆円
	公告	原則として、公告は電子公告により行います（ https://portfolia.jp/ ）。 電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じてお客様に交付します。	
課税関係	課税上の取扱いは株式投資信託となります。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「愛称：ジュニアNISA」の適用対象です。確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。 ※2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISA制度の適用対象となります。 「みのりの投信」は、2024年1月1日以降のNISA制度の「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象となる予定ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社まで問い合わせください。 ※上記は、2023年12月27日現在のものです。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。	

「みのりの投信」の費用

お客様が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 4.4% (税抜4.0%) を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額 ※自動けいぞく投資契約にもとづいて収益分配金を再投資する場合は、申込手数料はかかりません。
信託財産留保額	ありません。

お客様が信託財産において間接的に負担する費用

純資産総額に以下の率を乗じて得た額を日々計上しております (年率表示。カッコ内は税抜)。お客様が負担する費用が少なくなることを目的として、「みのりの投信」の純資産総額が増えるにしたいが、運用管理費用の料率が下がる仕組みになっています。					
運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額	300億円以下の部分	300億円超 500億円以下の部分	500億円超 1,000億円以下の部分	1,000億円超の部分
	運用管理費用 (信託報酬)	1.925% (1.75%)	1.815% (1.65%)	1.705% (1.55%)	1.595% (1.45%)
その他の費用・手数料	租税・立替金および借入金の利息、監査および法定手続き (書類の作成、印刷、交付等) に関する費用等、組入有価証券の売買委託手数料、金銭信託等に課される手数料および外国における資産の保管等に要する費用等が「みのりの投信」の信託財産から支払われます。				

※費用等の合計額については、お客様が「みのりの投信」を保有する期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
【ご参考】「みのりの投信」の第10期 (2022年4月1日から2023年3月31日まで) において運用・管理に関わる総経費率は1.972%になりました (実際にかかった費用を各月末の純資産総額の単純平均で除した平均費用率です)。

「みのりの投信」の税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人のお客様 (受益者) の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税、復興特別所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金 (解約) 時および償還時	所得税、復興特別所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金 (解約) 時および償還時の差益 (譲渡益) に対して20.315%

※上記は、2023年10月31日現在のものです。なお、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA (ニーサ)」をご利用の場合

少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」は、少額上場株式等に関する非課税制度です。NISA をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となりますが、2024年1月1日以降は、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、2024年1月1日以降は、税法上の要件を満たした商品を購入した場合に限り、非課税の適用を受けることができます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※お客様が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税、復興特別所得税および地方税がかかりません。また、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。

※外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人のお客様 (受益者) の場合は、上記とは異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家にご確認されることをお勧めします。

「みのりの投信」の関係法人

委託会社	「みのりの投信」の運用の指図を行います	株式会社ポートフォリア
受託会社	「みのりの投信」の信託財産の保管・管理を行います	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	「みのりの投信」のお申込みの受付を行います	以下をご参照ください (取扱開始順)

販売会社	登録番号	加入協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第195号	日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、 日本商品先物取引協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
株式会社北國銀行	登録金融機関 北陸財務局長 (登金) 第5号	日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会
いちよし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第24号	日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第44号	日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

みのりの投信に関する
お問い合わせ先



株式会社ポートフォリア

【電話】 03-5414-5163 【受付時間】 営業日の午前8時半～午後5時半

【URL】 <https://portfolia.jp/>

●この資料に関してご留意いただきたいこと

- ・この資料は「みのりの投信」をご理解いただくことを目的として株式会社ポートフォリアが作成した資料です。この資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- ・「みのりの投信」のご購入の際は販売会社が投資信託説明書 (交付目論見書) をお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。
- ・「みのりの投信」のご購入に関して、金融商品取引法第37条の6の規定 (いわゆるクーリング・オフ) の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・この資料は株式会社ポートフォリアが信頼できると判断したデータに基づき作成していますが、その内容の完全性、正確性について株式会社ポートフォリアが保証するものではありません。また、掲載データは過去のものであり、将来における運用成果を示唆・保証するものではありません。